



オリーブ通信

2024年
5月号
2024. 5.11 発行
第 265号

<http://www.ne.jp/asahi/olive/kusatsu/>



あたらしい なかまの しょうかい をします。(4月入会)



ゲン ディン チャップさん
ベトナム



チャン ヴァン ホアさん
ベトナム



スナンター ヤーンサワイさん
タイ

中川先生のへんてこ日本語

163

聴き取りやすさ

お彼岸(春分の日)にお寺で法話(説法)を聴く機会があった。予定の1時間があつという間に過ぎてしまった。不謹慎ながら、決して法話の内容が面白かったというわけではない。美しい標準語で、活舌もよかったというわけでもないが、なぜか聴き惚れてしまった。私自身が話し言葉に強い関心を持っているせいかな、話の内容よりも話し方に注意が移ってしまった。法話が終わって、なぜ話に心を奪われたのか考えてみた。

ゆっくり話す、ファイラー(あいう、えつと等の言いよどみ)が一度もない、「ら抜き」言葉、若者言葉、縮約語が使用されない、話す際の所作が美しい等、どちらかというと年配者を相手にした場面で、退屈させない話し方であったところに心を惹かれたのだと思う。

日本語教育なら、フォリナートークとか、ティーチャートークとか、日本語学習者に対する特別の話し方が重要視され、そのトレーニングも必要になる。語彙をどう選ぶか、一文の長さはどれくらいがいいか、話すスピード等、とかく細かく議論される。

聴き取りやすい話し方とは、トレーニングによって獲得されるものではなく、人間性や心の持ちようによって獲得されるものではないかと感じた。

聴く側の姿勢も重要である。法話を聴くために集まった方々は、法話を聴く目的一でお寺参りをしており、泣きあり、笑いありの楽しい時間を過ごしたのではないかと思う。

「聴き取りやすさ」とは、

話す側、聴く側双方の姿勢によって決定されるものだと感じた。一生懸命聴いてくだされば、話す側にも力が入る。一生懸命話してくだされば、聴きたくなる。

日本語授業でも全く同じで、伝える心を持って、学習者と接したいものだ。

京都外国語大学日本語学科教授 中川良雄



受付係（寺井さん）にインタビュー

ほとんど休まず、いつもきっちりと仕事をしてくださっている寺井さんのお話



オリーブに来たきっかけ

SHIPS（日本語教室）にいたことがあって、「日本語をしゃべったらいいだけというわけにはいかないな。教えるのはちょっと自信ないな…」と思っていたら、恩地さんに「オリーブなら教える以外の仕事もあるよ」と声をかけられ、来ました。

受付をしていて良かったと思うこと

先生だと自分の接している生徒としか話せない。でも、受付だと誰とでも話す機会があることかな。だけど、なかなか名前は覚えられない（笑）名札があるといいなあ。



受付をしていて困ったこと

チケットを買いにいっきに人が来て列ができてしまうと焦ります。焦った時ほど一万円札が出てきたりして。。。ますます焦ります（笑）

オリーブに思うこと

私は草津に住んでいるから来ているけれど、交通費を出してでもオリーブに来るボランティアさんたちは偉いなあと感心しています。（私だったらできないわ）



準備と後片付け

オリーブ前に、いつも荷物を運んで準備してくれ、受付と入会の机をセッティングしてくれるXさんたち



終わった後、いつも倉庫に荷物を片づけてくれるSさん。最後に部屋の忘れ物チェックをし、鍵を返してくれる会長さん。

当たり前のようになってしまうすみません。助かっています！

オリーブを宣伝（生徒さん）

生徒のSさんは、職場で困っている外国籍の人に、「オリーブってここで日本語教えてくれるよ、おいでよ」と声をかけているそうです。（実際、何人か来られました）



縁の下の力持ちさん この場で感謝



ベトナム人の入会はおまかせ！

2月から、入会班に入ってくれたベトナム人のチャンさん。ベトナム人にはベトナム語で対応。生徒さんとオリーブ側の要望やお願いなど、細かいやりとりを通訳してもらい、すごく助かっています！

陰ながらメールの対応は…

新規生徒、先生見学などのメール問い合わせにも対応する人がいます。長年O代表がその役を一人でこなされていましたが、PCの不調を機に、Nさんにその仕事を引き継がれました。時間外の対応ありがとうございます！

『日本語教師として、今、私はここに』

3月に、京都外国語大学日本語教育方法論研究会代表の中川先生主催のシンポジウムに参加された杉山仁さんによるレポートです。杉山さんも、現在、京都外国語大学に通い中川先生の元で大学院生として日本語教育を学ばれています。

中川先生は“オリーブ通信”をはじめ、いつも大変お世話になっている方です。そして、その発表者の中に以前、オリーブで日本語ボランティアをしていた堀野さんのお名前も載っていたので、興味をそそられ、参加しました。

前半は、発表者が一人ひとり順番に日本語教師として歩んでこられた道筋（キャリア・パス）について語られました。後半は、ブレイクアウト・ルームといって、それぞれ発表された方のweb上の部屋を訪ねることができる機能を使って、個人的にもっとお話を聞きたい方の部屋に集まり、そこにあつまった方々と交流しました。私はもちろん堀野さんの部屋を訪ねました。堀野さんは今京都外国語大学大学院の博士課程で学びながら、台湾の大学で日本語を教えているそうです。

発表者の方が紆余曲折を経て現在日本語教師をしていることや、今後の抱負などを聴けたことはとても参考になりました。中川先生も「日本語教師のキャリア・パスは教育実践を通じて形成され、教育実践を通じて教師は成長を続けると考えられる。」（2023.『日本語教師のキャリア・パス形成』）とおっしゃっています。

オリーブに参加しているメンバーの中にも豊富な人生経験を持っている方が多いです。これからはもっと互いに交流し合うことがそれぞれのキャリア・パス形成に役立ち、結果として、日本語教師の成長にもつながると思います。（杉山 仁）



オリーブでの杉山先生

何でそうなる?? 初級日本語のしくみ

「だいじょうばない」

外国人が登場するあるドラマをみていたら というセリフが聞こえた。“あれ？言い間違い??”と思っていたら、再び「だいじょうばない」と。これはみなさんお察しの通り、「大丈夫じゃない」が⇒「大丈夫ばない」になっているわけだけれど、他のセリフはわりと難しい言葉を使っているのに、何でこんな簡単な間違いを敢えて言わせているのか?? と引っかかった。で、考えた。。

形容詞と形容動詞の「ない形」を唱えてみる。「明るくない」「かわいくない」「うるさくない」この法則で考えると、「だいじょうくない」か「だいじょうぶくない」と間違えるパターンはあるかと思う。

でも違う。え?もしかして、この人は、「だいじょうぶ(bu)」は「ウ」の音で終わるから、動詞だと思っている!? 「座らない」「話さない」「書かない」…動詞の「ない形」なら、「だいじょうばない」になる!! “これだー!”と勝手にすっきりしてドラマを見続けた。結局、気になった文法の間違ひは、この「だいじょうばない」だけ。ということは、この間違ひは外国人には結構多い、ということなのかもしれない…と勝手に納得。(K)



先月の活動（4月）

日本語教室 4/6(M), 13, 20, 27 (4回)
 4/4(木) KIFA 理事会 (恩地)
 4/20(土) 会計監査 (内田幸、杉山美、小春)
 4/27(土) 30周年冊子班 (M)
 4/28(日) KIFA との打合せ (恩地)



今月の活動予定（5月）

日本語教室 5/11, 18, 25 (3回)
 5/11(土) 30周年パーティ班 第1回 MT
 5/26(日) AM 総会、
 PM 懇親会
 (SUNDAY'S BAKE RIVER GARDEN)

- 日本語教室の(M)は定例ミーティング
- ()内は参加者、または 参加予定者。敬称略



参加人数（4月）

月日	4/6	4/13	4/20	4/27
学習者	23	25	25	19
スタッフ	24	27	27	23



会員の動き（4月）

〈新入会〉なし
 〈休 会〉なし
 〈退 会〉なし
 〈賛助会員 4/3 現在〉
 納谷久美子さん
 北川ケンジさん



お知らせ

外国にルーツを
持つ子どもの
算数・数学動画

7言語対応

韓国語、中国語、ベトナム語、
 フィリピン(タガログ)語、ポルトガル語、
 ウクライナ語、英語

※タガログ語の中学・高校の数学は準備
 中です。

SIA FB アドレス

<https://www.kurodalab.jp/tmc/>

作成; 京都教育大学(黒田教授)

<https://www.facebook.com/siabiwako>

以前より使いやすくなりました!



日本のコト豆知識

5月 こどもの日

鯉(こい)は、強くて流れが早くて強い川
 でも、元気に泳ぎ、滝をものぼってしまう
 魚です。そんなたくましい鯉のように、子
 どもたちが元気に大きくなることを願う意
 味が込められています。



柏餅(かしわもち)の、柏の葉は、
 春の新芽が出るまで葉が落ちませ
 ん。後継ぎが絶えない、子孫繁栄の
 縁起物です。ちまきを包む笹の葉
 は、香りが強く邪気を払う、厄除け
 の意味があります。

編集後記

オリーブ通信係とは? ⇒ 「やってもいいよ」と手の挙がるのが少ない係。
 数年、困っていらっしゃる係の方々を見て、「じゃあ」と5月号を引き受けた。
 しかし…4月になって、町内の班長が回って来て、趣味のサークル代表が回って来て、
 書道検定の締切りが4月で、仕事は人手が足りなくて休めなくて・・・
 「やるよ」と引き受けたものの、“できるかしら?”と不安に。
 でも、これがみなさまのお手元にあるということは、できたということ。
 無事発行! ホッとしました。 (10年以上ぶりくらいのオリーブ通信・臨時担当 K.K)

